



全日本自治団体労働組合 北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区 北6西7 北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 渡部 裕幸

# 2014 国民春闘スタート

2014春闘がいよいよスタートした。1月10日の春闘討論集会、青年部や各地方本部春闘討論集会での補強意見を踏まえ、自治労本部第146回中央委員会で意見反映し、2月6日に開く道本部第118回中央委員会で春闘方針を決定する。

## 中小企業の業績回復が鍵

日本経団連は「経営労働政策委員会(経労委)報告」を発表した。これによれば賃上げにむけて合意した昨年末の政労使協議を踏まえ、業績好調な加盟企業へ賃上げを要請し、給与水準を底上げするべアの容認方針を6年ぶりに明記した。

さらに、日銀が1月16日に発表した、1月の地域経済報告(さくらりポート)では、初めて全国9つの地域で経営判断に「回復」の表現が盛り込まれた。この理由として、公共投資や個人消費

東京都知事選が23日に告示された。細川元首相が「原発ゼロ」を掲げて出馬表明した。政権与党の支持を受け出馬する舛添元厚生労働相は「中長期的な原発」と主張。「脱原発」は知事選の「争点」となり得るか?結果はどちらに。

## 朝風

特定秘密保護法は、秘密の範囲が曖昧、内閣の裁量で秘密が決められる「国会」裁判所よりも「内閣」の力が強まり三種分立が崩れる。知る権利や優越的人権である「表現の自由」が脅かされる。厳しく問い続ける姿勢を強めよう。

など国内需要が堅調に推移し、円高是正で輸出産業の業績も回復傾向にあることなどがあげられている。しかし、日本全体の動向は業績回復は大手企業

## 労組の存在価値問われる

2014春闘において、客観条件が整いつつある情勢の下で、労働組合の交渉力でしっかりと賃上げを勝ち取ることができると言われている。仮に賃上げが実現しなければ、消費税引き上げにより、実質賃金の低下を招き、働くものの生

活を守るため最後までたたかう」と述べあいさつした。出村・連合北海道事務局長は「道職員の賃金削減は地域経済、働くものの賃金に悪影響を与える。連合も連帯する」とあいさつした。

# 交渉力で賃上げ実現



多くの組合員が集まり、独自削減延長反対を訴えた=1月22日

## 地三 公者 独自削減延長は許さない!

地公三者共闘会議は、1月22日、札幌市・北条道庁東側前庭で「1月闘争」勝利!全道総決起集

会を開いた。はじめに、千葉議長(全道庁労連委員長)が「昨年の副知事交渉で独自削減延長提案が出された。これまで3,800億円にも上る独自削減や大幅な人員削減をうけ、生活費を削り少ない人数で道財政に貢献してきた。断じて許さない。知事はいまこそ人件費に頼らない道財政運営を決断し、独自削減を止めるべき。組合員と家族の生

## 削減率圧縮を勝ち取る

1月27日の最終交渉は未明まで粘り強く交渉が行われ、独自削減提案撤回はできなかったものの、削減率の圧縮や現給保障課題などで前進回答を勝ち取った。

『給与制度の見直し』反対 署名実施中!  
怒りの声を署名にこめよう!  
全道 29万筆 達成しよう!

◇目標 組合員×5筆 第1次集約  
◇取り組み期限 2月14日(金)まで  
※集約した署名は3月5~7日のブロック別中央行動・交渉に持ち込みます!

原発のない北海道の実現を求める  
「全道100万人」署名集約状況 ※1月28日現在  
2月24日まで  
167単組・総支部 79,819筆

### JICHIRO スケジュール

2月	
3日(月)	講演と対談「リベラル再生の道筋」(札幌市)
4日(火)	第10回執行委員会(札幌市)
6日(木)	道本部 第118回中央委員会(札幌市)
14日(金)	連合北海道「古賀会長とパート・非正規組合員・組合リーダーとの交流・対話集会」(札幌市)
	あいはら連合後援会総会・国政報告会(札幌市)
15日(土)	道本部自治体財政セミナー(札幌市)
21日(金)	全国町村職総決起集会(東京都)

道本部ホームページ  
自治労北海道 [検索](#) ユーザー名:minnade  
組合員専用ページは パスワード:danketsu2013

### 本号の紙面

23 特集・道本部国民春闘アンケート結果  
4 さようなら原発北海道集会、逢坂前衆議報告会、職場だより「留萌地本発」  
おいしいものプレゼントの当選者は次号で発表!

## 市町村共済加入自治体職員 ゴルファー保険

北海道市町村職員福祉協会の 団体ゴルファー保険 (ゴルフ特約等付帯 賠償責任保険) ホールインワン・アルバトロス費用 担保特約付

### ゴルフシーズンは「安心の確保」から始まります!

万一の賠償事故やプレーヤーご自身のケガ、大切なゴルフ用品の盗難などゴルフにも思わぬ危険がいつぱいです。団体ゴルファー保険のワイドな補償で安心ゴルフをお楽しみください。もちろん、ホールインワン・アルバトロス達成時の祝賀費用もセットされています。しかも、保険料は団体割引適用で30%オフと大変割安です。

- 保険料(1年間) ・3千円・4千円・5千円・6千円・1万円の5タイプをご用意。
- 申込締切日 平成26年3月7日(金) ※締切日以降のお申込はお取り扱いできません。
- 保険期間 平成26年4月1日(火)から1年間

※この保険に加入できる方は(財)北海道市町村職員福祉協会の会員とご家族です。

パンフレットのご請求・お問い合わせは… 北海道ポールスターサービス(株)保険部  
3月7日まで受付中

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1-4 三井生命札幌共同ビル2階  
TEL (011)251-0460 FAX (011)251-0463

●引受保険会社:(株)損害保険ジャパン札幌法人営業部 営業第一課 ●推薦団体:自治労北海道本部・北海道市町村職員共済組合・(財)北海道市町村職員福祉協会・北海道市町村職員年金者連盟

# 特集

## 自治労道本部 2014国民春闘 アンケート結果

# 重点課題「賃上げ」「人員確保」「非正規待遇改善」

## —どうする?「長時間不払い労働」増加—

詳しくは道本部ホームページ単組・組合員専用ページで [自治労北海道](#) 検索

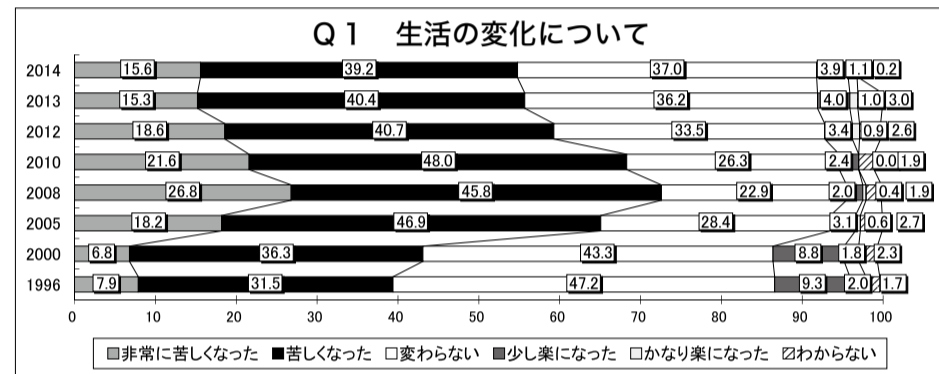
道本部の2014国民春闘アンケートの調査結果がまとまった。すでに1月10～11日に開いた道本部春闘討論集会で報告し、各単組にも送付済みだが、本号は特集で紹介する。なお、詳しい報告書は、道本部ホームページ→単組・組合員専用ページ→「総合研究室」に掲載しているのをご参照を。アンケートの回収状況は、243単組・総支部(除く直属支部)中193単組・総支部(昨年は244単組・総支部中181単組・総支部)、昨年よ

### ①生活の変化・家計の状況

## 「苦しくなった」5年連続減少

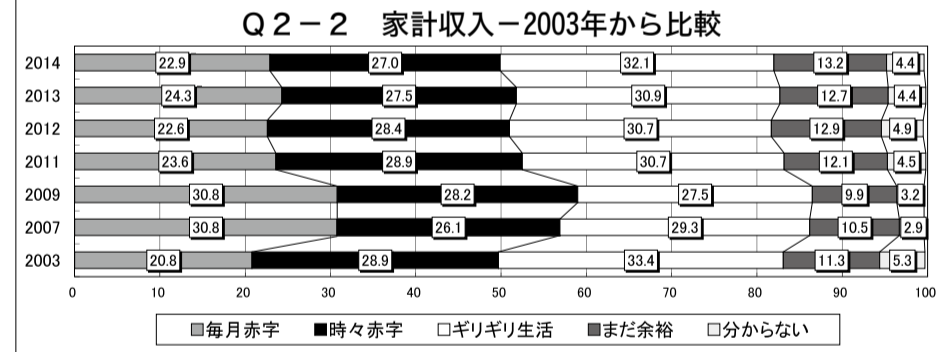
Q1 「生活の変化」では、2007年～2009年の3年間、「生活が苦しくなった」(①非常に苦しくなった+②苦しくなった)が増えているのが実情である。2010年にやっと7割を、そし

て2012年で6割を切り、今回は54.8%となった。2009年までの最悪期は脱したといえるが、「楽になった」は増えずに「変わらない」が増えているのが実情である。



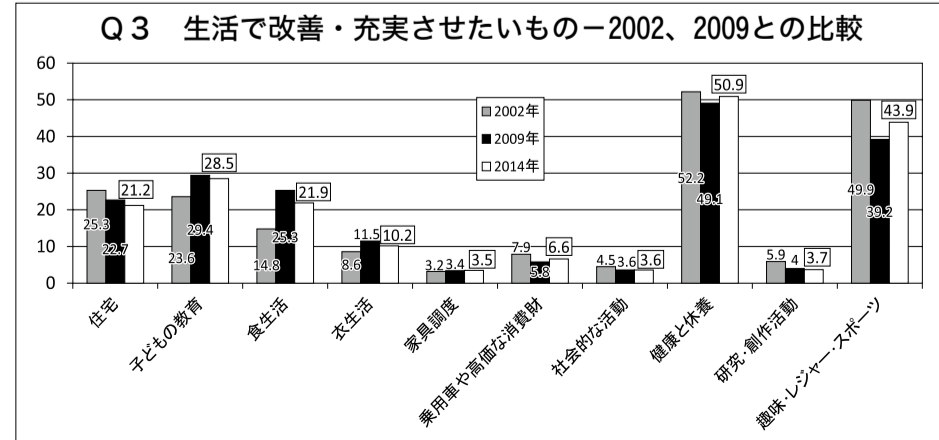
Q2 「家計」の状況は、「毎月」と「時々」を合わせた赤字家計の比率が最も高かったのは2009年で59%を占めた。それから徐々に減り、今回は49.9%とかろうじて5割をきった

が、この間の討論で指摘されているのは「節約」と「我慢の慣れ」であり、「切迫感は少し薄らいだが、慣れたなかでも中々やり繰りが難しい」というところだろう。



Q3 生活で改善・充実させたいものは、2009年のアンケート以来5年ぶりの実施であり、中期的な傾向をみるために2002年アンケートも含めて比較した。

「趣味・レジャー・スポーツ」が大きく減って、「食生活」などの生活の基盤部分が増加したのに対し、今回の2009年と2014年では、以前の傾向に戻って「衣食住」などが減り、「趣味・レジャー・スポーツ」「健康と休養」が増加に転じている。生活の改善は大きく進んではないが比較的稳定な落ち着きを取り戻しているよう

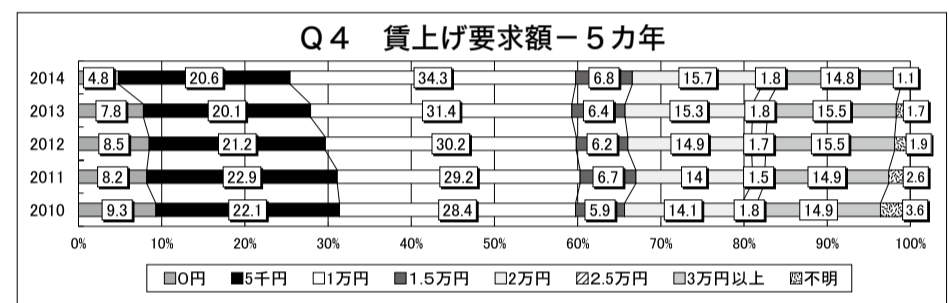


### ②春闘要求額

## 中央値は11,000円台に!

Q4 「要求額」の中央値は、昨年より117円上がり11,006円となった。2010年に調査開始以来最低額になったが、翌年から4年連続で要求額がアップしてきている。特に今回は「0円(定期昇給のみ)」が減って1万～2万のゾーンが増えたことがめ

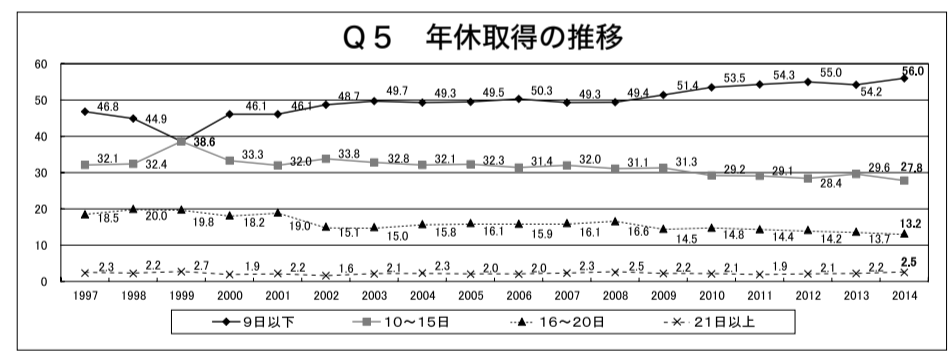
だつ。物価上昇と消費増税を前に賃上げを勝ち取らない限り実質の賃上げ、という2014春闘全体をめぐる情勢と機運も反映しているだろうが、「もう少し何とかしてくれ」という組合員の気持ちは確実に増えてきている。



### ③職場・労働実態(年休・超勤・未払い超勤)

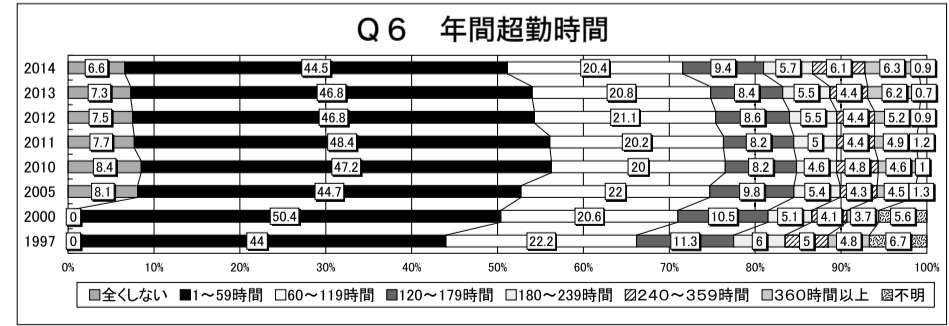
Q5 「年休の取得日数」は、減少傾向に歯止めがかからず、「9日以下」が6年連続で過半数、今回は過去最高の56%になった。グラフは1997年か

らの「年休取得日数の推移」である。「9日以下」という年休のどれな層は、年代別では20歳代(74.7%)、職種では医療系看護職(71.6%)医療系技術職(71.3%)が特に多い。



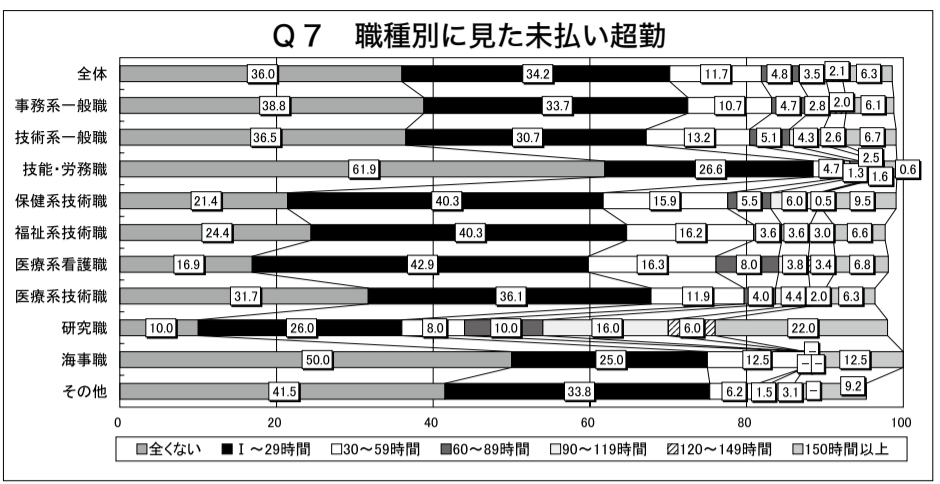
Q6 「年間の超勤」も、2010年調査まで緩やかに続いてきた減少傾向が2011年調査でストップ・反転し、以降4年間連続で増加傾向が顕著になっている。

責任の現状の反映とも思われる。ついでに「独身女性」が少なく、男性は「既婚」「独身」による違いはほとんど見られない。職種別では、比較的超勤が少ないのが「技能・労務職」で、「0～59時間」が約65%を占めている。逆に多いのは「研究職」「医療系技術職」「医療系看護職」で、この職種別傾向はあまり変化がない。



Q7 「超勤」のうちの「未払い超勤(サービス残業)」の実態である。「未払い超勤(サービス残業)あり」は全体で58%で、約6割の組合員が不払い労働をしている。前回との比較では、「全くない」が約36%で前回より約3ポイント増加した。「1

～29時間」から「90～119時間」までのゾーンは前回よりそれぞれ微減になっている。「120～149時間」が変わらず、最長の「150時間以上」になると逆に増加している。全体的には不払い労働が着実に減ってきているが、長時間ある部分はなかなか変わらず、2分化してきている



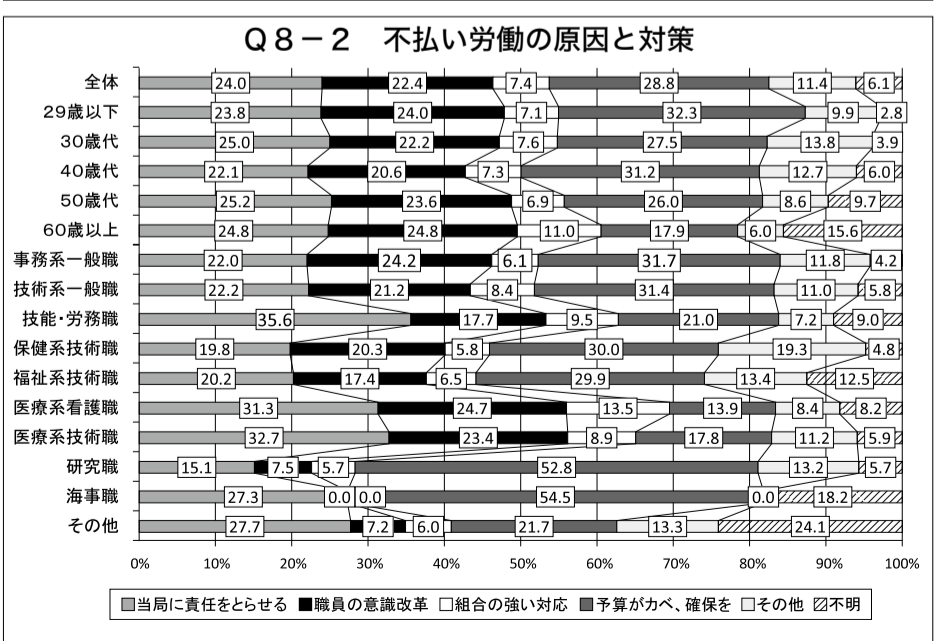
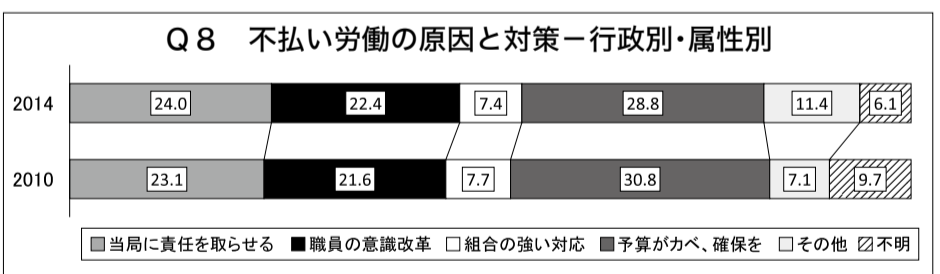
### ④未払い超勤の原因と対策

Q8 未払い超勤(=不払い労働)の原因と対策を聞いたもので、初めて設定した2010年アンケート以来4年ぶり2回目の設問である。

結果は2010年との比較も含めてグラフのとおり。多かった順に、「予算」「当局責任」「職員の意識」と続き、「組合対応」がもっとも少ないという分布傾向は大きくは変わらなかった。あまり大きな変化ではないが、「とにかく予算か」という公務職場の「泣きどころ」(役所の歴史的・構造的体質では「言い訳」「逃げ道」)が少し減少し、「管理職がちゃんと責任持つ」と「職員自身の意識改革」が微増した。「(法的な手段も含めて)組合が強く対応」は微減という状況である。不明(N/A)が減った分、「その他」が増え、もうけたコメント欄に記入された意見は814件にもなった。このコメントから読み取れる傾向をいくつか紹介したい。

まず、人員不足を訴える意見が多かった。「何をいっても今の人員と業務量では無理」「お金出なくていいから休みたい」など。次に「能力」「自己責任」を強調する意見である。「業務の処理・遂行能力がない人が、だからだと時間かかっている、これに手当を出したらかえって不公平」という指摘と、「能力がなくて終わらず残っているからそれでいい(仕方がない)」という自分に関するコメントと双方が多かった。率直な現実と気持ちだろうが、仕事の仕方や時間まで含めて「自己責任」の強調も目立ったのは、そもそもの労働組合の役割(使用者側に対する労働条件の集団的規制)と存在意味に関わる点であり議論が必要だろう。その他、労働時間への意識では、「1時間程度だから出すまでもない」「また逆に「タイムカードを導入すべき」という具体的提案も結構あった。

現実には①から④の要因すべてが関連しており、「職員減で仕事は減らないから超勤増は当然。予算がちゃんとつかないのは問題だが、仕事のやり方や体制も含めて、管理職も個人の意識も不可欠。ここが整理されない」と組合で強く対応とはなかなか…”というところだろう。しかし、社会全体としても“ブラック企業”が流行語になり、安倍政権が労働規制緩和をさらに推し進めようという状況の中で、労働組合の存在意味が問われている。職場・単組階層からの率直な討論や交流をつくり出すことから取り組みの強化がはかられるべきだろう。



### ⑤非正規職員の待遇改善

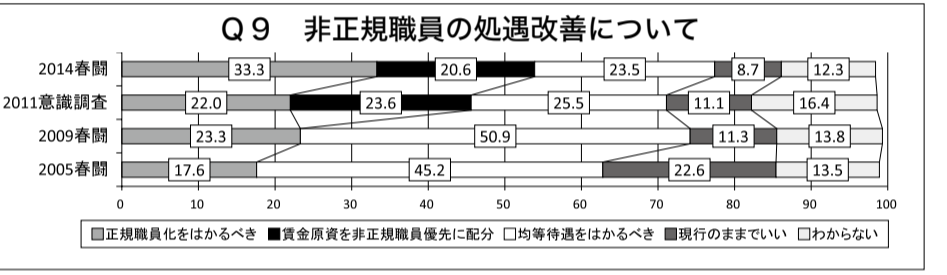
## 求める声は着実に増加

Q9 非正規職員の待遇改善だが、この設問の類似については、春闘では2005年および2009年アンケートで、また、もっとも近年では、春闘ではなく2011年の組合員意識調査で取り扱った。ただし、回答の選択肢や表現は多少の変更がある。

「2005」および「2009国民春闘アンケート」では、①正規職員化、②正規職員化は無理だが均等待遇を、③現行のままでいい、④わからない、の4択だった。2011年の意識調査では、自治労内部でも議論になりはじめた「賃金シェア」論議を踏まえて、「賃金原資を非正規職員に厚く配分」を選択肢に加えた。そして今回のアンケートでは、「正規職員化」と言っても業務による違いで一概に言えず答えにくいのでは」という指摘を受け、①に「(恒常的な業務なら)」と説明を加えた。こうした変化はあるが、この4回の結果を比較してみ

た。「処遇改善をはかるべき」は合計で77.4%、この4回で最も高くなった。特に「①正規職員化」が一気に10ポ

イントほどアップしている。これは、回答に(恒常的業務)と説明を加えたことも影響しているのは間違いないが、「④現行のままでいい」は初めて1割を切り、「⑥わからない」も最も低くなった。次のQ10での重点課題でも、非正規職員の課題は大幅にアップして深まっていることが確認できる。賃金カットや抑制、人員の削減など正規職員自身が厳しい中で、とすれば臨時・非常勤・嘱託などの仲間たちが放置されがちになる危険性は増大している。労働運動総体でもスロウガンと裏腹に「正社員を守るために…」という現実もまだまだ存在している中で、自治労道本部の組合員のこの意識の強まりは、労働組合としての健全性を確認できるものとして評価できる。しかしこうした意識も、当然ながら組合員が置かれている様々な条件の下で、違いや課題があることも見逃さない。詳細は報告書本体を参照のこと。

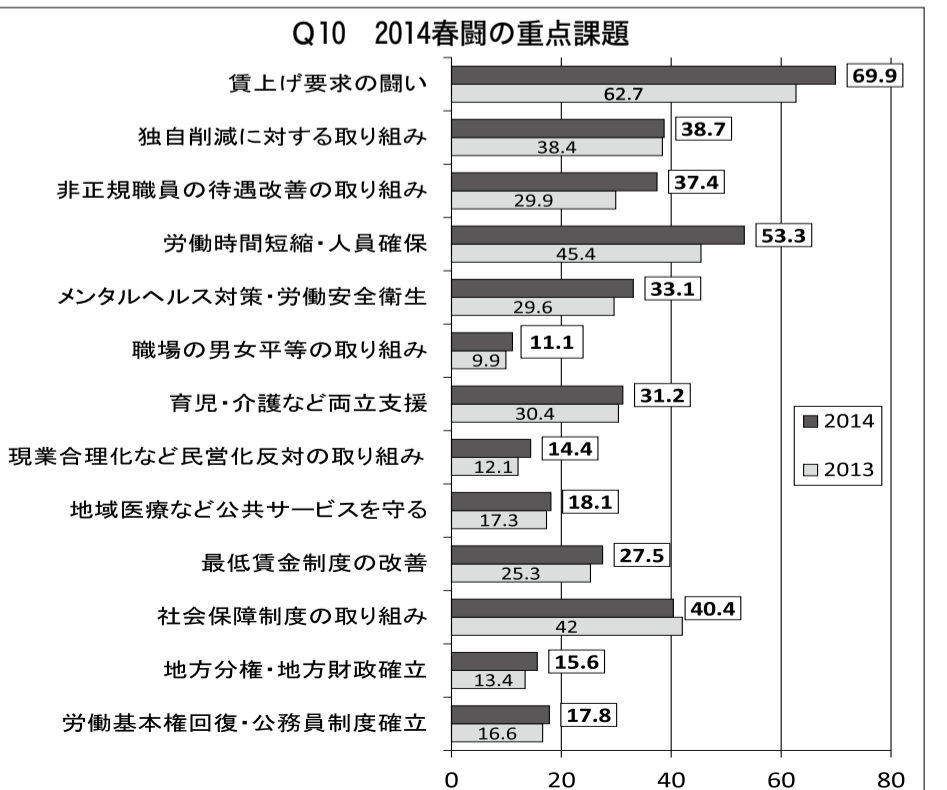


### ⑥春闘の重点課題

## 「賃上げ」「人員確保」「非正規待遇改善」

Q10 春闘の重点課題は、ほとんど全項目をつうじて、順位の大きな変化は見られないが、数値が全体的にアップしたのが特徴である。いくつでも選んでもらえるのだが、最近では数値自体は年々下がってきており、春闘の現状の中で組合員の「期待度」の低下が反映していたといえる。今回の全体的な数値のアップは、Q4の要求額が久しぶりに11,000円台になったことと合わせて、やはりし

っかりと要求して勝ち取ろう、という組合員の気持ちの反映と受け止められる。内容を見ると、「賃上げ」「時短・人員確保」「社会保障」「独自削減」が上位4項目はこの数年変わらなないが、その次が「非正規職員の待遇改善」になった。前回に比べて特に数値がアップしたのは、「賃上げ」(+7.2)、「時短・人員確保」(+7.9)、「非正規の改善」(+7.5)である。



# 『全道100万人署名』 をがんばろう! さようなら原発北海道集会

## 福島 の苦しみを運動に

1月18日、札幌市・か  
でる2・7で『全道1  
00万人署名』をがんば  
ろう! さようなら原発北  
海道集会』が開かれ、5  
50人が参加した。  
はじめに、さようなら  
原発1000万人アクシ  
ョン北海道呼びかけ人  
代表して、小野有五・北  
海道大学名誉教授が「原  
発のコストはいかにも安  
いと報道されているがウ  
ソだと分かってきている  
。みんなに伝え、一日  
も早く廃炉にしよう」と  
あいさつした。  
続いて、「原発は火力よ  
り高い」と題して、金子  
勝・慶應義塾大学教授が  
講演した。金子教授は  
「電力会社が原発を動か  
したい理由は、原発を稼  
働しないと会社がつぶれ  
るから。原発事故後、東  
電を救うためにお金をど  
んどん払い、除染などの  
費用は減額され状況は泥  
沼化している。90年代に  
多額の不良債権を隠して  
ごまかした結果、北海道  
では拓銀が破綻した時と  
同じ状況だ」と述べた。

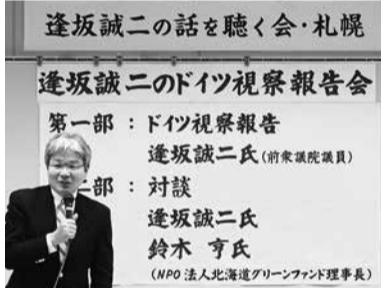


独特の論調で講演した金子教授。550人が参加した=札幌市・かでの2・7

さらに、福島の現状と東  
電の対応について「この  
ままでは、福島は放射能  
汚染のシンボルになり永  
久に汚染されたままにな  
る。官僚も東電経営者も  
自分のいる時期を乗り切  
ればいいと思ってい  
る。子どもの将来のこと  
など誰も考えていない。  
原発は止めていても冷却  
するための人件費と減価  
償却費で1・2兆円かか  
る。その費用を家庭に負  
担させる仕組みをつくっ  
てしまった。火力発電で  
は燃料費が高い。燃料費  
上昇で電力不足。原発は  
安いはずなのに。ウソ  
で固めたキャンペーン  
だ。原発を動かす理由も  
根拠もない」と批判した  
うえで、「東電にお金を投  
資し除染費用を減額する

ことに批判のまなざしで  
見ていかないと、なぜ原  
発反対しているのか分か  
らなくなる。いま福島の  
苦しみを一緒に背負わな  
いと脱原発運動ではな  
い」と問題提起した。  
最後に「エネルギー転  
換がないかぎり脱原発は  
実現しない。再生エネル  
ギーに変わることこそ二  
次が変わる価値観やライ  
フスタイルも変わる。そ  
のことで新しい産業や雇  
用が生まれる。新しい産  
業構造へ地域分散するこ  
とで、新しい社会システ  
ムが産業界構造換とも  
に生まれる。単に原発反  
対ではなく、環境・安全  
という理念を運動の中心  
に加えれば分散型社会に  
変わる。社会的意志決定  
が必要。そうすると北  
海道は、最も力を発揮す  
る地域は疑いのない事実  
だ」と述べた。

## 脱原子力はプラスになる



第二部では鈴木亨さんとの対談も行われた=札幌市・かでの2・7

1月21日、  
札幌市・か  
でる2・7で逢  
坂誠二の話を  
聴く会・札幌  
が主催し「逢  
坂誠二のドイ  
ツ視察報告  
会」が開かれ  
70人が参加し  
た。  
逢坂誠二・前衆議院議  
員は「ドイツ視察から將  
来を展望する」と題し、  
「原子力ゼロ決定の覚悟  
とゼロへの過程」「エネル  
ギーシフトの具体的取り  
組みを見る」ことを目的  
に、昨年11月に訪問した  
ドイツの現状を交えなが  
ら講演した。

逢坂さんは「ドイツで  
は、2011年の東日本  
大震災以降、2022年  
までにすべての原発を停  
止することを決めた。原  
発ゼロ決定はフクシマに  
よって世論が高まり『強  
い民意』となり後押しし  
た。州政府・基礎自治体  
は、連邦政府の決定に従  
って州ごとに独自計画を  
立ててエネルギーシフト  
に取り組んでいる」と述  
べた。さらに「電力会社  
も原子力から新しい電力  
への研究に力を注いでい  
る。国をあげての取り組  
みとなっている」とドイ  
ツの現状を報告したうえ  
で、「日本で脱原子力社会  
を実現するには、まず脱  
原子力ゼロを決定し、そ  
の上で日本社会の仕組み  
を現在の原子力推進型か  
ら脱原子力に転換し、脱

## えさきさんの 国会だより ②



2014年が明けました。皆さん  
過去には何度か節目の年がありまし  
いか新年を迎えられましたか。雪  
た。例えばちょっと古いですが、1  
00年前の1914年は、ヨーロッパ  
でサラエボ事件が起こり、第1次  
世界大戦が勃発。日本も8月にドイ  
ツに宣戦布告し大戦に参加しまし  
た。戦争の世紀と言われる20世紀の  
象徴的な年です。さまざまな経過を  
経て世界と非軍事の付き合いを初め  
て70年ほど。その歴史を変えるかも  
しない第186回国会が明日から  
1年になるのは間違いありません。  
始まりです。(1月23日東京にて)

2014年が明けました。皆さん  
過去には何度か節目の年がありまし  
いか新年を迎えられましたか。雪  
た。例えばちょっと古いですが、1  
00年前の1914年は、ヨーロッパ  
でサラエボ事件が起こり、第1次  
世界大戦が勃発。日本も8月にドイ  
ツに宣戦布告し大戦に参加しまし  
た。戦争の世紀と言われる20世紀の  
象徴的な年です。さまざまな経過を  
経て世界と非軍事の付き合いを初め  
て70年ほど。その歴史を変えるかも  
しない第186回国会が明日から  
1年になるのは間違いありません。  
始まりです。(1月23日東京にて)

## 病院経営比較や収益増の手法学んだ



### 職場だより

【留萌地方本部発】留萌  
市立病院職員労働組合は  
昨年11月22日、病院経営  
に関する学習会を開きま  
した。

現在、留萌市は財政健  
全化計画に基づき、さま  
ざまな合理化が行われて  
いますが、市立病院も改  
革プランを策定し、病棟  
の二部休止や、人件費の

削減を行うなど、組合員  
も相当な影響を受けてい  
ます。このような状況を  
踏まえ、公営企業会計の  
仕組や経営診断をして、  
今後の活動に生かそうと  
学習会を企画しました。

学習会では、道本部衛  
生医療評議会・平野弘  
輝・事務局長を講師に、  
類似病院との経営比較や  
経営方法を示していく



公営企業会計の仕組みや経営診断を学んだ=11月22日、留萌市

## チャレンジ! チルドレン・ファースト 35

### 会議の役割は 保育内容や処遇のチェック

市町村子ども・子育て  
支援事業計画の策定や認  
可・確認事務、認定事務  
にむけての準備など、地  
方版「子ども・子育て会  
議」において集中的に議  
論しなければ課題がたく  
さんあることはこれまで  
もお知らせしてきたこと  
ですが、会議の役割に  
ついて再確認しておきた  
い事があります。

それは、保育内容や関  
係労働者の処遇をチェッ  
クし、自治体の子ども政  
策への意見反映をするこ  
うな役割です。

保育の質を向上させる  
ことを強く望みます。

## 忙中余話

今年も午年  
である。「積極  
的平和主義」  
「強い国」を  
掲げ右へ右へ  
と舵をきる安  
倍首相も年男  
だ。特定秘密  
法にも数々の力に負けるこ  
となく粘り強く運動を行  
っている必要がある。

駿馬のように颯爽と走  
ることはできないかもし  
念仏「馬耳東風」である。  
集団的自衛権の行使を容  
認する憲法解釈の変更も  
1月24日から開会した通  
常国会の中で結論を出そ  
うとしている。国家主義  
を強め憲法改悪の動きを  
加速させている。いよいよ  
よ馬脚を現してきた。  
(河井勝)